



三宅島郷土資料館は

皆さんに三宅島の文化と自然をより身近に感じていただくため、廃校になった阿古小学校を改修し、平成20年4月23日に開館しました。

今後、皆さんが参加しやすい講座や行事を開催し、皆さんとともに資料館の充実を目指します。



浅沼稻次郎(1898~1960)先生は三宅島出身の著名な政治家です。労農運動に活躍し、昭和35年に日本社会党の委員長に就任されました。同年10月、日比谷公会堂において立会演説中に右翼少年に襲われ貴い生涯を終えました。

【児童公園内の銅像】

郷土資料館 利用案内

- 入館料／ 一般200円 団体15名以上(160円/人)
中学生以下、65歳以上無料
- 開館時間／ 午前10時から午後5時まで
- 休館日／ 水曜日 年末年始(12月29日~1月3日)

行事案内

- 特別展(年1回) ■入門講座
- 講演会 ■体験学習
- 資料館では常設展示の他、年1回の特別展等を開催します。また、地域の自然・文化についての学習講座、講演会などの開催を予定しています。
- 特別展等の日程などについては、「広報みやけ」「三宅村ホームページ」をご覧ください。
- 館内には図書館を併設しています。併せてご利用下さい。

村立図書館 利用案内

- 開館時間／午前10時から午後5時まで
- 休館日／水曜日 年末年始(12月29日~1月3日)

交通機関(三宅島までのアクセス)

- 海路／東京港竹芝桟橋より船舶で6時間30分(1日1便)
- 空路／調布飛行場より飛行機(定員19人)で45分(1日3便)
- 島内交通／村営バスで「阿古」下車 徒歩 1分

編集 / 三宅村教育委員会 [2014年7月版]
〒100-1212 東京都三宅島三宅村阿古497番地
郷土資料館 Tel 04994-5-1453
村立図書館 Tel 04994-5-1453
<http://www.miyakemura.com>

※「三宅島全景」「雄山火口」の写真は三宅島測候所の協力によるものです。



三宅島かよ
緑の島か
小鳥さえずる
唄の島
(島節より)

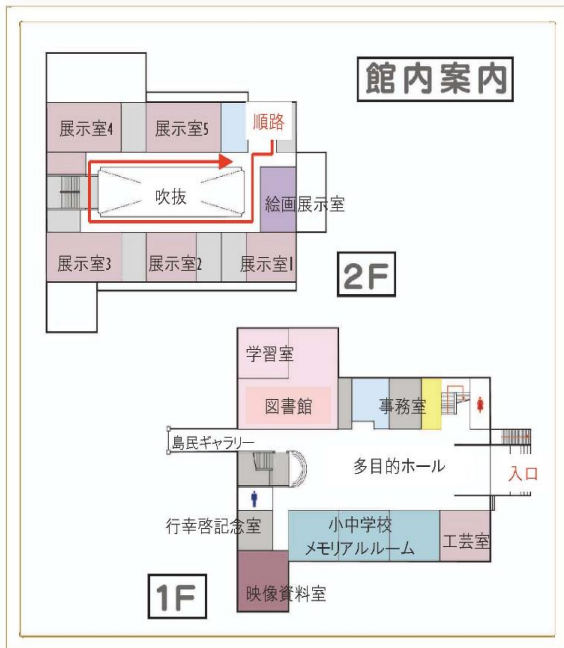


三宅島全景

三宅島郷土資料館

【主な活動と展示概要】

- 郷土の歴史民族資料を保存展示します。
- 郷土文化の発掘や伝承に努めます。
- 様々なテーマで調査や研究を行います。
- 住民の方々の協力で地域の資料、情報を集め整理、保存に努めます
- 調査成果、収集資料をもとに特別展示や講演会、各種講座等を開催します。
- 図書館の充実に努めます。
- 島の文化活動拠点として、三宅島の魅力を発信します。
- 島外との文化交流を推進します。

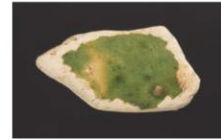


【展示室1】 三宅島のあけぼの

- 東京から南へ180km離れた火山島の三宅島には、いつ頃から人々が暮らしていたのでしょうか？
- 縄文時代等の遺跡から発掘された品々を展示しています。
- 年代：縄文～弥生



オオツタノハ貝輪(コマ)



奈良三彩(富賀浜遺跡)

【展示室2】 三宅島の神社と信仰

- 伊豆諸島の24の式内社のうち12社が三宅島にあります。
- 伊豆諸島随一の量を誇る銅鏡や島独特の信仰「積石遺構」等を展示しています。
- 年代：平安～安土桃山



銅鏡 (鎌倉時代)



物見処遺跡

【展示室3】 流人文化

- 江戸時代、流刑の島となった三宅島で人々はどのような生活をしていたのでしょうか？
- 流人の伝えた文化等を展示しています。
- 年代：江戸



小金井小次郎(画)



江戸時代のヨイ舟(模型)



生島新五郎の墓 (伊ヶ谷)

【展示室4】 黒潮の恵み

- 明治から昭和にかけて、島は黒潮の恵みで産業が大きく発展しました。
- 農漁業の道具等を展示しています。
- 年代：明治～昭和



農機具 (戦後)

【展示室5】 火山博物館

- 2000年の噴火災害を中心に、現在の三宅島を紹介しています。
- 見どころ⇒リアルタイムで配信される火口映像。



雄山火口

【絵画展示室】(2階)

- 三宅島出身で名誉村民である平松讓画伯の絵画12点を常設展示しています。



「明けゆく磯」 2007年 60F

図書館のご案内(1階)

- 資料館の1階には図書館が併設されています。約14,000冊の蔵書がありますので、ご利用下さい。
- 学習室もありますので、併せてご利用下さい。

